

2023年度 事業報告書

特定非営利活動法人 生涯学習サポート兵庫

1. 事業の成果

別紙参照

2. 事業実施に関する事項


特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象の範囲及び人数	支出額(千円)
青少年の体験活動の推進及び健全育成に関する事業	無人島学校	通年	主に兵庫県内	100名	子ども 一般成人 延1,400名	27,915
	カラフルプロジェクト					
	アウトドアクラブ hako					
	逃走隊プロジェクト					
	シーズンキャンプ					
青少年の居場所づくり事業	生活困窮世帯の子どもを地域で支援事業	通年	主に兵庫県内	50名	子ども 延1,500名	9,883
生涯学習施設の運営管理に関する事業	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL運営事業	通年	主に兵庫県内	50名	子ども 一般成人 延10,000名 各種団体等 延60団体	55,316
	子どもの冒険ひろば					
	キッズのための週末プログラム MIKKE					
	森のお泊まり学童					
	シーズンキャンプinさんだ					
	さんだ森のおさんぽ会					
	MORINOWA					
子育てをしている人及び子育ての支援に関わる人や団体等を支援する事業	ひめじ森のようちえん	通年	主に兵庫県内	50名	子ども 一般成人 延1,000名 各種団体等 延30団体	1,054
	子育て支援団体ネットワーク					
	ひょうご子ども応援ファンド					
生涯学習の普及啓発に関する事業	SHOSAPO講師団	通年	主に兵庫県内	30名	各種団体等 延200団体	13,126
児童福祉法に基づく障がい児童通所支援事業及び、障害児相談支援事業	放課後等ディサービス事業	通年	主に姫路市内	10名	子ども 延1,550名	15,866
中間支援に関する事業	NPO広報支援事業	通年	生涯学習サポート 兵庫事務局	6名	各種団体 延13団体	761
	オトナチカラプロジェクト					
その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	その他団体中間支援事業など	通年	生涯学習サポート 兵庫事務局	6名	各種団体 延20団体	5,264


2023年度 事業報告

NPO法人 生涯学習サポート兵庫


●青少年の体験活動の推進及び健全育成に関する事業

無人島学校	
	無人島では、普段の生活では起こり得ない困難に子どもたち自身が考え、悩み、行動し、ふりかえりを繰り返す。その中から自分自身の役割に気づき、仲間のいる場所を居場所と感じる。過酷な環境に適応する能力を養い、プログラムで培ったスキルを一般生活で生かしていくことを目的とする。また保護者とも共通理解を図り、家庭生活での子どもへのフォローや親子関係の構築につなげることも目的とする。
開催	■第17回無人島学校 一週間自給自足生活挑戦 ■無人島学校 親子コース ■無人島学校 3DAYSコース
実施場所	・事前セミナー:オンライン(zoom)・無人島学校:松島(県立いえしま自然体験センター管理)・事前、事後コーチング:オンライン(zoom)
参加人数	33人 / 14人 / 11組(22人)
2023年度の特徴と効果	今年度からスタッフとして高校生ボランティア(6名)が参加。無人島学校本番では各グループに入り、子どもたちに一番近い存在として、自分自身で考え、役割を見つけ、いきいきと活動する姿を見せてくれた。ファシリテーター(大学生ボランティア)も、高校生たちの活躍を見て、より一層奮闘する姿が見られた。また、コーチングセミナーを新たに実施し、セミナーを受けたコーチが子どもたちへのコーチングを行った。


●青少年の体験活動の推進及び健全育成に関する事業

カラフルプロジェクト	
	播磨地域を中心とした地域に住む発達障がいのある子どもたちが多くの大人との関わりや地域の自然や社会活動に関する多彩な体験を通じて、豊かなふさと感を育んでいくことを目的として、プログラムを実施。(ひょうごっ子・ふさと塾助成金事業)対象が小学生～高校生と幅広く、長期間継続して参加することができる。日帰り活動だけでなく、次のステップとして宿泊キャンプを実施することで、子どもたちの更なる学びに繋げている。
開催日	5/14(日)/7/30(日)/9/10(日)/11/26(日)/1/14(日)/2/25(日)日帰り全6回 おとまりキャンプ:10/28(土)-29(日)/3/30(土)-31(日)宿泊全2回
実施場所	■5/14(日):うみくる■7/30(日):うみくる(白浜海水浴場)■9/10(日):津田公園■11/26(日):書写山■1/14(日):海の家山下休憩所■2/25(日):姫路市立水族館 手柄山交流ステーション■カラフルおとまりキャンプ:加古川市立少年自然の家
参加人数	日帰り74人、おとまりキャンプ26人
2023年度の特徴と効果	昨年度からスタートした日帰り活動は、着々と参加者が増え、キャンセル待ちになる活動もあった。継続的に参加をすることで、活動の場やスタッフにも慣れ、子どもたちそれぞれの個性が光る活動となった。家以外ではなかなか喋ることができない子が少しずつ話せるようになったり、公共交通機関での移動が難しい子が電車に乗る挑戦したり、継続参加だからこそ感じられる成長がみられた。春のおとまりキャンプでは、それまでのお昼集合から朝食集合に変更し活動時間の長いプログラムにもチャレンジした。


●青少年の体験活動の推進及び健全育成に関する事業

ひとりできるもん!	
	対象年齢を小学1年生に限定することで、子どもも保護者も安心して参加できる。初めてのおとまりや初めてのキャンプにびびったり。「ほうちょうでやさいがきた!」「あたらしいおともだちができた!」など、できた項目ごとに色を塗ったりシールを貼ったりと、子どもたちが積極的にやり取りし、思いを工夫をしている。できることが増えることで自信になり、次はおうちでもやってみようと思えるキャンプ。年間を通して参加する子が多く、2年生になり他のキャンプへの参加率も高い。
開催日	■8/6だいっぽ! ■8/21-22おとまりマスター編 ■12/23-24クリスマスパーティー編 ■3/28-29おかいものマスター編
実施場所	宿泊:加古川市立少年自然の家 日帰り:うみくる
参加人数	日帰り:20人、8月:27人、12月:20人、3月:18人 のべ85人
2023年度の特徴と効果	毎年実施しているひとりできるもん!は、参加者のリピート率も高い。夏のキャンプに参加してくれた子が、冬も春も参加してくれることが多い。数年前に参加していた子の弟や妹が参加してくれることも増えた。おとまりマスター編では、初めておとまりの体験をする子が多かったが、リーダーや同じグループの友だちと仲良く、ぐっすり眠ることができた。冬のクリスマスパーティー編では、去年から引き続き、サンタさんからのプレゼントを用意。朝起きて子どもたちはプレゼントに喜んでた。お買い物体験も年々本格化しており、自分たちでお買い物をして購入した食材や器材を使って調理することで、より達成感を感じられた。


●青少年の体験活動の推進及び健全育成に関する事業

アウトドアクラブ hako	
	「あそびのなかからまなぶ」月に一度、感性や個性をのぼす「り」とる」と、グループ活動でコミュニケーションをまなび「ぶらす」そして失敗を恐れず、目標に向かって一歩踏み出す「チャレンジ」に分かれ、年間を通して季節を感じられるプログラムを展開しています。子どもたちにはおもしろいだけでなくあそびながらまなぶ時間を、パパママには月に1度のリフレッシュする時間を届けている。
開催日	■りをとる29回 ■ぶらす29回 ■チャレンジ6回(内1回は宿泊キャンプ) ■宿泊キャンプ1回
実施場所	明石公園、明石市立少年自然の家、白浜海水浴場、ハチ高原、兎和野高原野外教育センター他
参加人数	hakoメンバー176名 単発参加者 50名
2023年度の特徴と効果	メンバーの人数が増え、「ぶらす」コースは定員いっぱいとなり、体験参加・単発参加の受付ができない状態となった。今年度から集合解散場所・曜日ごとに分けたコースを設定し、コース登録制度を導入。各回の参加人数の予想ができ、固定メンバーの為、子ども同士のコミュニケーションもとりやすくなった。チャレンジコースでは、1年の最後にチャレンジキャンプ(1泊2日)のキャンプを実施。高学年ならではのチャレンジ要素を取り入れたプログラムを行った。保護者との連絡手段として公式LINEを導入。緊急時の連絡から普段の質問や会話まで、手軽に連絡を取ることができるようになった。


●青少年の体験活動の推進及び健全育成に関する事業

逃走隊プロジェクト	
	年齢縦割りのグループにわかれ、ハンターから逃げる。ハンターから逃げながら様々なミッションに挑戦し、クリアすることで、グループのメンバーが少しずつ「グループのことを考えた行動」ができるようになり、「同じ目標に向かう友だち(チーム)」になることをねらった活動。キャンプ事業の中では、初めてでも参加しやすく他のキャンプへの入口ともなっている。リピート率も高い。
開催日	■春シーズン3回 ■秋シーズン3回 ■冬シーズン2回 ■委託3回 ■密告中2回
実施場所	明石公園、兵庫県立いえしま自然体験センター、神戸三田アウトドアビレッジTEMIL
参加人数	各30~40人
2023年度の特徴と効果	企画から当日の進行、事前ミーティングや振り返り、当日参加するボランティアリーダーとの打ち合わせや振り返りなども企画チームに加入しているボランティアリーダーが主体となって活動を行っている。ボランティアリーダー全体で意見やアドバイスをし合い、共につくりあげようという一体感が生れている。楽しさとまなびの要素を取り入れられるよう、回を重ねることによりよいプログラムになるように企画を進めている。今年度は委託事業としての逃走隊も増え、要望に合わせた場所で開催したり、プログラム内容を変更する工夫もあった。


●青少年の体験活動の推進及び健全育成に関する事業

シーズンキャンプ 春	
	四季を感じながら子どもたちの「やりたい」を最大限に引き出し、様々な体験プログラムを実施した。カヌー・カヤック体験、アウトドアクッキング、秘密基地づくり、思い出工作等
開催日	■3/25-27 いえしまチャレンジキャンプ ■4/3-4 はじめてのおとまりキッズ★キャンプ ■4/5-7 ナトキ島と伝説の海の宝物 ■5/3-5 秘密基地キャンプ
実施場所	・兵庫県立いえしま自然体験センター・加古川市立少年自然の家・兵庫県立南但馬自然学校
参加人数	57人
2023年度の特徴と効果	この春は外出しやすくなったからか、例年より参加者数が伸び悩んだ。夏・冬に比べると春キャンプは特徴が少ないため、広報の仕方やプログラム内容で子どもたちを引き付ける必要があると、課題に感じる結果となった。


●青少年の体験活動の推進及び健全育成に関する事業

シーズンキャンプ 夏	
	四季を感じながら子どもたちの「やりたい」を最大限に引き出し、様々な体験プログラムを実施した。海あそび、カヌー、釣り、いかだづくり、クッキング、キャンプファイヤー、川あそび、ツリーイング、マウンテンバイク、思い出工作など
開催日	■8/1-4: いえしまチャレンジキャンプ ■8/7: いえしま王国と海の大冒険! (台風のため8/7-9を8/7の日帰りに変更) ■8/10・11・19: 夏のいえしまマリニツアー ■8/14-15: はじめてのおとまりキッズ★キャンプ (台風のため中止) ■8/16-18: 学校に泊まろうキャンプ ■8/23-24: いえしま海をまんきつキャンプ ■8/26-28: 秘密基地キャンプ ■9/16-17: 親子のわくどき★キャンプ
実施場所	■8/1-4、8/7-9、8/11、8/19、8/14-15、8/23-24: 兵庫県立いえしま自然体験センター ■8/10: 白浜海水浴場 (強風のため場所変更) ■8/16-18: たかのす東小学校 ■8/26-28: リゾートロッジ山水館 ■9/16-17: 神戸三田アウトドアビレッジTEMIL
参加人数	8/1-4: 30人 8/7-9: 16人 8/10: 4人 8/11: 26人 8/19: 25人 8/16-18: 31人 8/23-24: 26人 8/26-28: 27人 9/16-17: 11組 (31人) のべ216人
2023年度の特徴と効果	昨年同様、人気の海のキャンプを多く実施。ほとんどのキャンプが定員いっぱいだった。台風の影響を大きく受け、1つのキャンプを中止、そのほか2つのキャンプでも台風の影響を受け、台風に悩まされる年となった。


●青少年の体験活動の推進及び健全育成に関する事業

シーズンキャンプ 冬	
	四季を感じながら子どもたちの「やりたい」を最大限に引き出し、様々な体験プログラムを実施。雪あそび、スキーなど
開催日	■12/28-30: スキーまんきつキャンプ ■1/6-8: 冬の大冒険キャンプ ■1/6-7: はじめてのおとまりキッズ★キャンプ ■2/12・2/17 スノーフェスティバル雪あそびコース、スキーコース
実施場所	・ハチ高原 リゾートロッジ山水館・兵庫県立兎和野高原野外教育センター・加古川市立少年自然の家
参加人数	12/28-30: 32人 1/6-8: 30人 1/6-7: 17人 2/12: 33人 2/17: 35人 のべ147人
2023年度の特徴と効果	雪不足に悩む年となった。スキーキャンプでは、雪の量がギリギリの状態、1日目しかリフトに乗れず、2日目からはムービングベルトのコースのみでスキーを練習し、3日目は雪不足のため雪あそびのプログラムに変更をした。毎年リピーターが多いスキーキャンプで、たくさん雪を経験している子どもも多く、雪不足にはがっかりしていたが、その子どもたちに楽しんでもらえるようにプログラムを変更し満足いただいた。年明けの雪プログラムは、定期的な寒波のおかげで、なんとか雪がある状態でプログラムを実施できた。毎シーズン人気の幼児向けキャンプを冬にも実施した。


●青少年の居場所づくり事業

生活困窮世帯の子どもを地域で支援事業	
	生活困窮世帯等の子どもへの学習支援を通して学習や生活習慣の獲得の支援、及び子どもが安心できる居場所づくり
開催日	週1回
実施場所	兵庫県内(12町): 猪名川町、多可町、稲美町、播磨町、福崎町、神河町、太子町、上郡町、香美町、新温泉町 ※市川町、佐用町(未実施)
参加人数	延べ1505人
2023年度の特徴と効果	各町とも熱心なコーディネーターとボランティアの助けもあり、それぞれの居場所づくりができていると思われ、特に調理実習は各町とも子どもたちにとっても人気がある。加えて、春休みには合同デイキャンプを開催し、他町の子どもの交流を図った。保護者向けのアンケートからも毎週のスクールを楽しみにしていると多くの声が寄せられた。

●生涯学習施設の運営管理に関する事業

神戸三田アウトドアビレッジ TEMIL	
	非日常の空間の中で、「不便を楽しむ」ことをコンセプトに、子どもも大人も「やってみよう」にチャレンジする場。ファミリー向けのプランのほか、企業向けの研修プランやスポーツ団体向けプラン、学校向けプランなどを提供。
開催日	通年
実施場所	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL
参加人数	約9,000人
2023年度の特徴と効果	スポーツ団体や子ども関連の団体、企業研修での利用が増えた一年で、特に夏季から秋にかけては、多くの方に訪れていただいた。また、冬季も「冬キャンプ」を楽しむ姿を今年度は多く見られた。11月には、SHOSAPO20周年イベントとして「そとあそびフェスティバル」を開催。天気にも恵まれ、多くの方に越えしいいただいた。

●生涯学習施設の運営管理に関する事業

キッズのための週末プログラム MIKKE	
	SHOSAPOの「あそび」とTEMILの「自然」が奏でる、月に一度のスペシャルDAY! 子どもたちが夢中になってチャレンジできる、がむしやらにあそぶ1日をお届けします! ママやパパにも月に一度のリフレッシュDAYを!
開催日	12回(体験会含む)
実施場所	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL
参加人数	のべ95名
2023年度の特徴と効果	TEMIL外に出て活動する機会として「芋の苗植え」「芋掘り」や「まち探検」などのプログラムを実施し、参加する子どもたちにとっても新鮮な場になったと思う。登録会員の数が徐々に増えている状況なので、次年度会員増加に向けた取り組みを考えたい。

●生涯学習施設の運営管理に関する事業

森のお泊まり学童



ひとり親家庭が抱える長期休みにおける子どもたちの預け先問題のサポートを行う。「預ける」=申し訳ないではなく、「ありがとう」に変えていく。また「まなぶ」「あそぶ」のメリハリ、基本的な生活習慣を身につけながらも自然の中での体験を大切にしている。	
開催日	(夏)7/30-8/3、8/16-19(冬)12/26-30、1/5-8(春)3/26-30、4/4-6 (週末)2/10-12、2/23-25
実施場所	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL
参加人数	のべ197名
2023年度の特徴と効果	今年度から「週末森のお泊まり学童」を実施。味噌作りやパラコードでストラップ作りなど、自分たちで考え「つくる」時間を大切にしながらプログラムを行った。各季節の参加者はリピーターも多く、年長者が年少者を気遣う場面も見られた。

●生涯学習施設の運営管理に関する事業

シーズンキャンプ inさんだ



子どもたちの「やってみたい」を様々なテーマのチャレンジで実践する自然体験プログラム。「まんきつキャンプ(夏冬)」「アウトドアマスターキャンプ(夏冬)」「ナツスタキャンプ」「週末イベント(越冬昆虫観察会、投火採集)」他	
開催日	■7/16-17:夏の森をまんきつキャンプ■12/23-24:冬の森をまんきつキャンプ■8/26-27:アウトドアマスターキャンプ(夏) ■2/24-25:アウトドアマスターキャンプ(冬)■7/26-28:ナツスタ★キャンプ■11/12,2/4:集まれ!昆虫好き!越冬昆虫観察会 ■12/9,3/9:親子のOUTDOORSCHOOL
実施場所	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL
参加人数	(まんきつキャンプ)のべ28人(アウトドアマスターキャンプ)のべ25人(ナツスタ★キャンプ)19人(週末イベント)のべ95組(親子のOUTDOORSCHOOL)のべ16組
2023年度の特徴と効果	夏のアウトドアマスターキャンプでは、途中大雨に見舞われたが、子どもたちはその中でも「アウトドアマスター」目指して、アウトドア技術の修得に楽しみながら臨むことが出来た。ナツスタキャンプも夏の定番となっており、先生方の工夫で毎年違った「まなび」を提供することが出来ている。「森のおさんぽ会」のステップアップとして「親子のOUTDOORSCHOOL」を開催したが、小学生が親子で参加するプログラムのニーズが高いことがわかった。

●生涯学習施設の運営管理に関する事業

さんだ森のおさんぽ会



親子で季節の移り変わりを感じながら、お散歩したり、思いっきりあそんだり、ものづくりに夢中になったり...ゆったりとした気持ちで子どもとの時間を共有する、月1回の親子を対象とした自然体験ワークショップ。	
開催日	年間10回開催
実施場所	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL
参加人数	のべ136組
2023年度の特徴と効果	そうめん流しやロング巻き寿司などコロナ禍では実施できなかった「大人数だからこそ」楽しめるプログラムも本年度は実施することができた。パパママも積極的にプログラムに関わる姿が多く、自然を大いに感じながら、個々の成長を見守ることができる時間となった。

●生涯学習施設の運営管理に関する事業

MORINOWA



子どもたちの「はじめて」とママたちの「気づき」がまつた森じかん。ココロとカラダを緩やかに、子どもたちとゆったり過ごせる時間をお届けします。	
開催日	年間4回開催
実施場所	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL
参加人数	のべ20組
2023年度の特徴と効果	そうめん流しにボールすくい、ハロウィンクッキングに葉っぱプール、チラン寿司作り...四季の移り変わりを体いっぱい感じながら、ゆるやかに子どもたちと過ごす...パパママもリフレッシュできる時間となった。

●生涯学習施設の運営管理に関する事業

ひとやすみ inさんだ



五感でかんじる、わたしの居場所「ひとやすみ」。焚き火、クッキング、モルックやクラフト...体験(あそび)の中には、まなびがいっぱい。今日は、ほっと「ひとやすみ」の日。ひょうごボランティア基金助成事業	
開催日	オープンディ:12/28 他のべ8回 TEMILdemarché:3/29
実施場所	神戸三田アウトドアビレッジTEMIL
参加人数	ひとやすみ のべ32名 TEMILdemarché のべ150名
2023年度の特徴と効果	薪拾い→焚き火→炊飯を毎回の活動のベースとして実施。子どもたち一人ひとりのペースに合わせながら、プログラムを実施。ロコミで徐々に問い合わせや参加者が増えた。活動に賛同してくださる方々と実施した「TEMILdemarché」では、「TEMILってどんなところ?」というみなさんにも気軽に立ち寄っていただき、「TEMIL」を知っていただく機会となった。

●子育てをしている人及び子育ての支援に関わる人や団体等を支援する事業

ひめじ森のようちえん 0歳からの森あそびいっぱい



いきもの探し、流しそうめん、山のぼり、運動会、クリスマスパーティー、クラフト、クッキング、絵の具あそび等	
開催日	ひめじ森のようちえん:年間5回 いっぱいぽ:年間14回
実施場所	太子遊びと冒険の森【ASOBO】
参加人数	森よう延べ 48組 いっぱいぽ延べ 112組
2023年度の特徴と効果	森よう「家族みんなと一緒に」楽しめる自然体験プログラムを実施。新型コロナウイルスが2類から5類への移行を受け、数年ぶりに名物である、竹を切りに行くところから楽しむ「流しそうめん」プログラムも実施。少しずつ人と人の物理的距離を近づけて運営を行うことができたことで、参加者同士が関わりあいや助け合う場面も増え、つながりを取り戻すきっかけになったように感じる。 いっぱいぽ平日10時~13時で、就園前の子どもを対象に毎月実施。今年度より日曜日コースを年に2回実施。平日は就労していて参加できない親子も活動に参加出来たことを喜ばれた。小さな子どもたちが安心して野外活動出来る場が貴重であること、毎月参加される親子が多く、保護者同士もつながりができ、自然の中でリフレッシュできる居場所となっており、ニーズが高まってきていることを感じる。

●生涯学習の普及啓発に関する事業

SHOSAPO講師団



主に子育て支援施設や学校、PTA、公的機関、NPO団体等から依頼を受け、未就園児親子から高齢者まで幅広い世代を対象に、講演、研修、イベントでのレクリエーション、親子あそび、オンラインレクリエーションなどを提供する。多くの「まなび」が隠された体験プログラム＝「あそびプログラム」を提供し、結果だけでなく、過程を大切にすることにこだわり、誰もが楽しく参加できるしかけづくりを追求している。

実施場所 兵庫県を主として大阪、京都など近畿圏を中心に、オンラインでは北海道から鹿児島まで全国に渡る

件数 200件

2023年度の特徴と効果 加古川市から「こどもの交流すべすわかば」事業を受託し、不登校の子どもの対象として平日に野外活動やクラフトプログラムを年間40回実施した。講演に関しては、民間の講演会社を通じて大規模会場での依頼を複数受け、北海道や山梨、愛媛など全国各地での開催となった。オンラインレクリエーションは年々、依頼件数は減っているが、今年で4回目となる大型リピーターからの依頼もあり、新たにフルーツ大福などのオリジナルプログラムも生まれた。

●児童福祉法に基づく障がい児童通所支援事業及び、障害児相談支援事業

放課後等ディサービス事業 GreenWood



6歳から18歳までの障害児を対象とした障害児通所支援事業。自立に向けた発達支援、「あそび」を通して社会生活や集団生活における社会性や協調性を育むための療育を行っている。主体性を尊重した自己選択・自己決定や「利用者が安心できる居場所」「自分らしくいられる居場所」を大切に活動をしている。

開催日 通年(土日祝、8月13～16日、12月28日～1月3日を除く)、開所237回

実施場所 放課後等ディサービスGreenWood

参加人数 延べ1,567人

2023年度の特徴と効果 昨年度より利用日を固定したことで、毎週同じ友だちと過ごして仲が深まり、安心して過ごせる姿が多くなったことや、指導員や友だち同士での会話が増えていった。利用者からもわかりやすくなったと声をいただいている。前年度は心身の成長も見られる中で学校に行けなくなる利用者も増えていて、今年度も対応にあたっているが、GreenWoodには「来たい」と来所している子が多い。安心して利用できる居場所になっていると感じている。今後もGreenWoodだからできる活動を考えていきたい。

●中間支援に関する事業

NPO広報支援事業



一緒に考え、一緒につくる。あそびゴコロを大切に「つくる」楽しさを大切に、そしてその効果と一緒に喜ぶことのできるモノづくりをめざします。作成物(チラシ、リーフレット、パンフレットなど)

依頼先 小野市ゴルフ協会、パナソニックハウジングソリューションズ、青少年団体連絡協議会、EDUCAMP、ナック他

件数 外注13件

2023年度の特徴と効果 野外活動団体をはじめ、ゴルフ協会、労働組合など多種多様なご依頼に対応。昨年度に続きリピーターとなった団体様も増え満足度の高さが次に繋がったものと感じている。